



CONGRATULATIONS !

この度はMTM社のSpecial Ops Vultureをお買い上げいただきありがとうございます。
機能、品質そしてスタイルにおいて他に類の無い唯一無二の時計を選ばれました。これから先何年もあなたのお役に立つことと思います。

Thank you once again... MTM

時刻調整

ライトボタン
リゅうず
第二調整位置
第一調整位置
充電ロキャップ

- 1.) リゅうずを緩めます (反時計回り)
- 2.) 第二調整位置までリゅうずを引き出し、正確な時刻までリゅうずを時計回りに回します。
- 3.) リゅうずを押し戻し、ぴったり回転するまで、時計回りに回してリゅうず全体を回転させます。
(締め過ぎにご注意ください)

MTM MILITARY OPS
VULTURE

日付の調整

ライトボタン
リゅうず
第一調整位置
充電ロキャップ

- 1.) リゅうずを緩めます (反時計回り)
- 2.) リゅうずを第一調整位置まで引き出し、正確な日付まで時計回りにリゅうずを回します。
- 3.) リゅうずを押し戻し、ぴったり締まるまで、時計回りに回してリゅうず全体を回転させます。
(締め過ぎにご注意ください)

MTM MILITARY OPS
VULTURE

備考: 毎月の月末には翌月の1日に日付を調整ください。

ライト概要

ライトをご使用になられる場合はまず最初にライトボタンを反時計回りに回し緩めます。

4種のご使用方法

- 1.) ライトボタン (2時の位置) を1回押すと内部照明モードとなります。UVライトがダイヤルを5秒間照らします。
- 2.) ライトボタンを2回押すと外部照明モードとなります。3つのLEDが20秒間白色に光ります。
- 3.) ライトボタンを3回押すと緊急モードとなります。ストロボライトがバッテリーを充電するまで点滅し続けます (数時間)。
- 4.) ライトボタンを4回押すとダイビングや極限状態の使用モードとなります。UVライトがバッテリーを充電するまでダイヤルを照らし続けます (数時間)。
- 5.) ライトボタンを5回押し全てのライトを消します。

備考: 再度ライトボタンをロックする際はぴったり締まるまで時計回りに回してください。

MTM MILITARY OPS
VULTURE

上記のライトモードボタンは水の中では押さないように注意してください

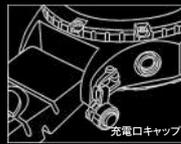
重要事項

この時計はMTM社または承認されたMTMディストリビュータによってのみ提供されます。

保証は、時計の不正加工または開封によって生じた損害には適用されません。
MTM認定サービス施設以外の者が行った修理によって生じた欠陥または損傷は保証されません。

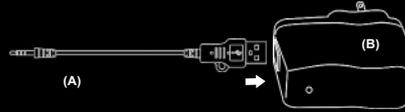
MTM MILITARY OPS
VULTURE

バッテリーの充電方法



当VULTUREは、11時と12時の間に低電圧アラートライトが装備されています。電池が低電圧の時は点滅し始めます。

- 1.) 充電口キャップ(4時の位置)を反時計回りに回し緩めます。
- 2.) 充電コード(A)を4時位置にある充電口に差し込みます。
- 3.) 充電コード(A)をチャージャー(B)に接続します。チャージャー(B)をコンセントに差し込みます。もしもコンセントが使用できない場合はデスクトップPC/ラップトップPCのUSBコネクタに接続することもできます。



- 4.) チャージャー(B)をコンセントに差し込むとチャージャーの背面のライトが赤く光り、充電が完了すると12時と1時の間にあるライトが緑色に光ります。
- 5.) フル充電が完了したら、充電口キャップをきつく締め戻します。



もしも充電口キャップが正確に締められていない場合、水が時計内に浸入する恐れやダメージを負う可能性があります。

充電口キャップやりゅうすが正確に締められなかったことで生じる水の侵入による時計の如何なるダメージに対してもMTM社は一切の責任を負いかねますのでご容赦ください。

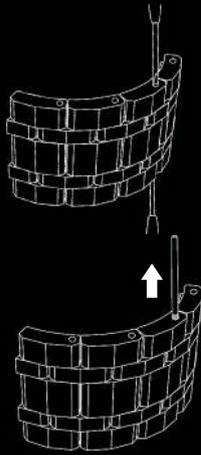
時計バンドの長さ変更方法

特記事項: バンドの長さ変更はプロ仕様の工具が必要になります。

従い、当VULTUREは宝飾店へ持ち込み、長さを正確に変更されることを強くお勧めいたします。それでもご自身でバンドの長さを変更される選択をした場合は、以降の数ページの図が参考になります。ご購入者様の責任において、図に記載されている指示に従って行ってください。ご購入者様ご自身によるバンドサイズ変更で生じる如何なるダメージもMTM社は責任を一切負いかねますのでご容赦ください。

時計バンドの長さ変更方法

分解編:



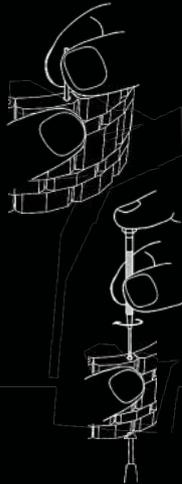
ステップ1. まず取り外したいコマの辺りのプレスレットをつかみます。ネジの頭にドライバーの先端を1mm挿入します。ドライバーに下向きへ適度な圧力をかけながら、反対側のネジに別のドライバーの先端を挿し込み一緒に押し込みながら反時計回りに回します。ネジが緩まるまで、反時計回りに回転させます。

ステップ2. 外れたネジとネジ受けの端を持ちコマから外します。これらは再度組みますので、無くさないよう置いておきます。

ステップ3. ネジが外れると、コマを取り外せます。この工程を繰り返しご自身の腕に合う長さまでコマを取り除きます。

時計バンドの長さ変更方法

組立編:



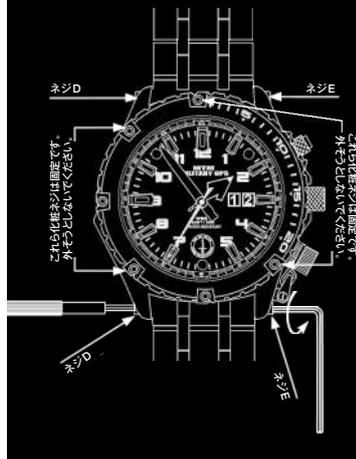
ステップ 1: コマをつなぎ合わせ、ネジ穴にネジを挿し込みます。コマの裏側にネジ受けを入れ、適度な圧力を与えながらネジを押しします。

ステップ 2: ネジ端にドライバーの先端を1mm挿入します。ネジ受けを別のドライバーで固定し、適度な圧力をかけながらネジを時計回りにしっかり締め込みます。但し過度な力は加えないようにしてください。



ネジを締めすぎるとネジ山が潰れたり、ネジ頭がバカになりダメージを受けますのでご注意ください。

ケースからバンドを外す方法



付属のレンチ(インチ)を使用します。まずはネジDをレンチ(図参照)で固定します。次に反対側のネジEを別のレンチで反時計回りに回しネジを緩めます。レンチの長手を使い、ネジDを慎重に押し出します。

ネジの締め過ぎにはご注意ください。ネジを破損する可能性があります。

ケース上面にある化粧ネジは取り外そうとしないでください。